

みんなの県政

45 / 6

No.18

富山





天皇陛下御播種地

お手播杉
すくすく育ち
床がえ

昨年5月28日、天皇・皇后両陛下が全国植樹祭にご来県のおり、立山町吉峰の県林業試験場でお手まきされた立山杉は、すくすく育ち、もう10歳あまりに成長し、4月15日本畑に床がえされました。

本畑には、約15歳間隔で植えられ、今年中には、約20歳に育つということです。

(すくすく伸びた立山杉を床がえする作業員)



梅雨時の
ふけつ
それーッ、この家
こそおいら繁殖の
場所



表紙説明

北陸街道のなごりをとどめる

浜黒崎の松並木

江戸時代になって平和が回復し、産業が盛んになると、各地に町が勃興してきた。これらの町はその性格によって、城下町、市場町、宿場町、門前町、港町などに分けることができる。

まず城下町には、富山、高岡、魚津がある。富山はすでに室町時代から町になっていたが、戦国時代に水越越前守勝重によって城が作られ、明らかに城下町として性格もってきた。

魚津も室町時代の末には、数百軒の屋並みをなしていた。戦国時代に魚津城が築かれて、越中の東の固めの一つになっていたが、戦国の争乱で荒廃し、城がとりこわされたのちは、漁港として次第に庶民が移り住んだ。

高岡は、古くは関野とっていたが、慶長14年(1609)前田利長が築城するにおよび、城下町として繁栄した。

今の小矢部市石動は、城下町から宿場町に発展したもの。越中から加賀へ向う北陸街道筋の重要な宿駅として、また、小矢部川を利用して年貢米が集荷される藩の御蔵の所在地として、成長してきた。

宿場町として、このほか菅笠の産地である福岡をはじめ、大門、東岩瀬、水橋、滑川、三日市、舟見、入善、泊などがある。

その宿場町として栄えた東岩瀬から、浜黒崎にいたる延長約8キロにわたって松並木がある。これは、慶長6年(1601)前田利長が、参勤交代のときの往路還路に植えた黒松の並木である。道路の両側に、あるいは天を摩し、あるいは道路をおおるように傾き、風致ある枝ぶりを見せている。現在、天然記念物として指定され、大中木あわせて41本残っており、まわり3~4分のものもあり、枯れかかっているものや、空洞のできているものなど、いかにも老木の観を呈している。みんなで永く保存したいもののひとつである。昔は歩いて通ったこの街道も拡張舗装され、いまは自動車が行きかたに往きかたに。

門前町としては、瑞泉寺の門前に開けた井波町が典型的である。このほか、伏木は勝興寺、城端は善徳寺、八尾は聞名寺の門前に開けた。

港町では、古いもので放生津がある。これは、鎌倉時代から知られていた。氷見は南北朝のころに名がみえていたが、放生津、氷見は富山湾漁業の中心地として、また年貢米の移港出として栄えた。このほか、四方、東岩瀬、水橋、滑川、魚津などがある。

みんなの県政45年6月号(No.18)

表紙・浜黒崎の松並木(歴史シリーズ18)

<グラビア>

両陛下のお手まき杉本畑に床がえ

最近の県政から.....4

- 県庁の屋上にコイのぼり
- サケマス漁船団魚津港から出港
- ボーイスカウト・ガールスカウト合同大会ひらく
- 44年度の県米作改良選賞きまる

水防はみんなの力で.....6

春の交通安全運動総決算.....8

県庁の機構紹介—総合計画開発課

貯蓄 病気や不時の
災害に備えて.....9

国の出先機関紹介—富山保護観察所

<グラビア>

新港にマンモスクレーン完成.....10

あなたのコーナー ご質問に答えて.....12

造林シリーズ アメリカシロヒトリの防除

名工を訪ねて ③

番匠屋ののれんを守る 田村勝二さん.....13

6月の解説

カメララボ ①
農業試験場.....14

富山県の自然⑦ 宮野山公園.....18

越中史夜話 第13回

代 牢.....19

裏表紙

6月のキャンペーン むし歯予防
6月の県政テレビ番組

6月号もくじ

最近の県政から

44年度の県米作改良選賞決まる

二百八十二個人を表彰

富山県、県米作改良対策本部、県産米改良協会では、五月七日午後一時半から県民会館において、昭和四十四年度の県米作改良選賞の表彰を行いました。

表彰されたのは、米作改良優良生産者、米作改良優良指導者、稲作集団栽培指導者、水稲種子優良生産者、米作改良優良生産組合、優良稲作集団栽培組合、米作改良優良農業協同組合、産米計画出荷優良団体、地力増強推進優良団体など。鍋島武雄さん（入善町）ら二百八十二個人と大門町土合第一生産組合ら二十七団体です。

（知事から表彰状を受けとる鍋島さん）



B・G両スカウト合同大会 ひらく

第十三回ボーイスカウト、第七回ガールスカウト合同の富山県大会は、五月三日富山市公会堂に中田知事（同連盟長）ら関係者をはじめ、県下から三千七百人のスカウトが参加して開かれました。
中田連盟長から県連有効章、感謝章の贈呈のあと、ボーイスカウト、ガールスカウト精神を誓い、つづいて市内をパレードして、大会を終りました。
（市内をパレードするスカウト団員たち）

「元気によい子供に」 の願いをこめて

県庁屋上にコイのぼり

空に泳ぐコイのように、みんなが元気によい子供に——との願いをこめて、県庁屋上でコイのぼりの掲揚式が、四月二十五日朝行なわれました。

式には、富山市内の保育園児約八十人と中田知事らが参加して、大きな真ゴイ、ヒゴイと吹き流しが空高く上げられました。

そのあと、みんなで元気いっばい「コイノボリの歌」を歌って、五色の風船を空に飛ばしました。

（コイのぼりの歌をうたう園児たち）



サケマス漁船団魚津から出港

魚津港から四月二十三日午後、県下の北洋サケマス漁船十八隻が出港しました。

港には、留守家族や漁業関係者、近くの小学生、保育園児ら約千人が見送るなか、各漁船とも色とりどりの大漁旗をなびかせながら、にぎやかに出港、留守家族らは、テープを投げて別れを惜しみ、大漁を祈りました。

漁船団は、北海道根室を拠点に北洋上で操業、八月に帰港する予定です。

（出港するサケマス漁船を見送る留守家族たち）



水防はみんなの力で……

出水期をひかえて



44年8月豪雨の地すべりで倒壊した民家(大山町地内)

て約一千億円に達しております。

対策、処理につきましては、最善の努力をつくしておりますが、あらゆる災害を通じて万全の防災対策というものはなかなか見当りません。したがって、その時の環境条件に合わせて適切な方法を選び、処置を行なっております。

水害の発生は、多量の降雨が原因であることは誰もが知っておりますが、これも雨の降り方にいろいろあって、短時間のうちに集中的に局地的に烈しい雨が降ったり、降り方はそれほど激しくなくとも、長期間、長時間にわたり降ったりするものもあります。

さらに季節、地形、その他の影響によってもかなり異っております。

そこで、本県における河川の出水時期を分ける次のようになります。

- 第一期……融雪時期(三月/四月)
- 第二期……梅雨前線に伴う集中豪雨による出水(六月/七月)
- 第三期……台風に伴う豪雨による出水(八月/九月)

急流河川が多い富山県

六月から七月にかけて、全国的に梅雨期に入りますが、本県においては、ことは三月に入ってから山岳部の降雪と異常低温のため、融雪が遅れ、そのため異常降雨があれば、各河川は増水し、氾濫や土砂流による水害を引き起しやすくなるようになっております。

そのうえ、本県のように数多くの急流

河川があるところでは、上流での融雪、または集中豪雨による出水が非常に短期間で下流に到達するため、それだけ危険性が大きいわけですね。

傷あと大きい八月豪雨災害

昨年の八月上旬に県東部を襲った集中豪雨(一時間の雨量九十二ミリ)によって、県東部の各河川、谷川が瞬時に氾濫し、土砂崩れ、山地の崩壊、堤防の欠壊、家屋の倒壊、農地・道路・橋梁の流失、交通通信網、その他の公共施設に多大な被害をあたえ、災害救助法を三市六町村に適用し、その被害総額は、約二百四十一億円という莫大なものになりました。この惨状は、今なお私どもの記憶に新しいところでもあります。

日頃水からの大きな恩恵を受ける反面、水の恐ろしさを改めて痛感させられたことと思います。

水防対策

県では、県水防本部を中心に建設省、気象台、各沿岸市町村の水防管理団体、その他関係機関の協力のもとに、水害を防ぎ、不幸にも水害が発生した場合には、その被害を最小限にとどめるた

融雪・梅雨前線・台風時期に注意

わが国は、古くから災害王国といわれるくらい各種の災害に見舞われ、梅雨時ともなると水害は毎年どこかで起り、時には大惨事となって尊い人命と財産を奪うことがしばしばあります。

近年、社会、経済の発達にともない、人口の増加、土地の開発等が急激に進み、

従来、住宅に適しない所でも開発され、住宅が造成され、ひとたび被害が生ずれば、その程度はますます大きくなっていきます。

被災額は、年々莫大になっており、昭和四十四年度中の建設省関係の全国の水害は、件数にして約五万件、復旧額にし

め、県内各河川について危険なカ所、予想される被害等をくわしく調査し、防ぎよ対策や水防活動に必要な資材、器材、水門、水防倉庫、ダムを事前に点検し、整備拡充に努めております。

水防関係諸機関の責任と分野を明確にして、水防に必要な警戒、通信連絡、輸送関係機関の活動相互間の応援等の運営と実施について、大綱を定める富山県水防計画を策定し、県庁の河川課に水防本部を置いて、市町村及び水防組合などと連絡をとって、水防活動が円滑に行なわれるように努め、非常事態に対処してまいります。

ひとりひとりが不断の努力を

このように安全を保つために、水防の万全を図っておりますが、水防は、消防機関等に頼りきりでは、万全を期することはできません。

過去にも、各地を襲った豪雨に際し、特に都市河川において河川の管理が不十分なため、災害を誘発したり助長した事例もあり、今後河川管理を強化し、災害を未然に防止するよう措置を行なうとともに、併せて河川的美観を保つように努め、特に次の事項について守っていただきたいと思ひます。

① 流水の疎通を妨げたり、河川的美観をそこねるようなゴミ、その他廃物、汚水の投棄をしないこと。

② 堤防にみだりに杭等を打込んだり、耕作をしたり、あるいは無断で物件を堆積、築造したりしないこと。

③ 無断で土石、庭石等採取し、特に堤防附近のものを掘起したり、護岸に障害を与えるような行為をしないこと。

④ 出水時において堤防、河川構造物等の破損または危険ヶ所を発見したときは、直ちに最寄りの市町村役場、または関係土木事務所に連絡すること。

⑤ 用排水路等への逆流のおそれがあるときは、直ちに用水管理者に連絡するとともに水門等を閉塞すること。



生々しい8月豪雨の爪あと、完成間近い県道立山公園線(立山町千垣地内)



大なる損害を与えております。「水害は、毎年必ず起るもので避けられない」と、あきらめのない見方をする人もあるようですが、私達ひとりひとりが不断の努力によって、これを防ぎ、あるいは災害を受けた場合でも、その被害を最少限にとど

めることができるのです。平時から備えを忘れることなく、今一度水害の恐ろしさ悲しさを想い起し、県民一丸となって来るべき出水期に備えましょう。

集中豪雨

気象用語としてはなかったのですが、昭和三十三年六月島根県の狭い地域に、一日二百以上の局地的な大雨が降ったので、この時、はじめて「集中豪雨」という言葉が使われました。

梅雨前線

気候が春から夏にかわる時、冷めたい大陸の高気圧がだんだん北方に退却しはじめ、性質の違った暑い湿った太平洋高気圧が潜り込んで、両高気圧の間出来る不連続線のことを、梅雨前線といい、なお、これが日本本土付近でおしつおされつと、その前線付近は多量の雨が降ります。

湿舌(しつぜつ)

南方の海から、熱と水蒸気をたくさん含んで湿めた、しかも暖かな気流が日本本土付近にある梅雨前線に向って、人間の舌のような形で入りこんでくる気流をいいます。そして衝突地点の狭い地域に、猛烈な雨を降らせませす。集中豪雨の発生はこの時起きませす。

四人死亡 一六五人負傷

春の交通安全運動総決算の事故めだつ

いぜんと多い飲酒運転

ドライバーはもっと歩行者の保護を
歩行者はもっと交通安全意識を
いぜんと多い飲酒運転

四月六日から全国一斉にくりひろげられた、春の交通安全運動は、県内でのべ九千三百人の警察官、五万三千三百七十二人の関係者が参加して、四月十五日終了しました。

去年は、五月十一日から二十日にかけて行なわれたこの運動の特徴をながめてみましょう。

運動期間中の交通事故

区分	年	件数	死者	傷者	
4月6日～4月15日の交通事故	45	141	4	165	
	44	74	5	210	
おもな事故	歩行者事故	45	52	2	51
		44	51	2	49
	こどもの事故	45	19	0	19
		44	39	0	40
老人の事故	45	24	2	22	
	44	14	1	13	
風酒の事故	45	6	0	7	
	44	8	1	14	

は、ことしは、新入学者、新就職者の交通事故が例年最も多いこの時期に、合わせて、実施されたのです。

そして、その結果はズバリいって、とりたてて好成績とはいえないものですが、以下、今年の特徴をながめてみましょう。

まず、表からもわかるように、事故件数が、昨年同期との比較で減っています。

例年この時期が、交通事故多発の傾向にあるにもかかわらず、運動の開始直前における事

故の小康状態が、そのまま続いたことは、多少なりとも運動の効果があつたと見るべきでしょう。

とはいふものの、やはり、この運動期間中に百四十一件の事故が発生し、四人の死者と百六十五人の傷者を出しました。県民総ぐるみの体制のもと、家庭や学校や職場など、それぞれの立場において、交通事故防止のために努力されたことから見ますと、多少の件数の減少も、満足な結果であつたとは、とてもいい切れないのです。

- 1、ドライバー全体としては、いぜんとして安全運転の注意心が足りなかつた。
 - 2、歩行者や、自転車乗りなどを保護しようとする意識が、一般的に不足していた。
 - 3、飲酒運転がいぜんとしてあつたとを絶たなかつた。
 - 4、歩行者の安全意識が低い。
- とび出し、正しくない自転車



無理な追越しによる事故が多い

の乗り方などが、事故原因の大半を占めていた。

子供と老人を守ろう

これらの点から見えていえることは、ひとりドライバーだけを責めるわけにはいきません。全般的に交通マナーの認識が不十分であるように思われます。

とくに四人の死者は、全部歩行者であり、そのうち二人は老人であつた点については、強く運転者に反省をうながしたいと思ひます。

また、家庭においては、もっと交通安全について家族で十分に話し合う場を持ち、老人や子供は絶対ひとり外出（とくに夜間）させないように、おたがいに注意したいものです。

(交通安全室)

貯蓄 病気や不時の災害に備えて

貯蓄とは

私達が家庭生活を営んでゆくうえに、ムダを省いて、ミエを捨て、お金を貯める。あるいは、家計のきりもりを上手にして残ったものを貯めておいて将来に備える。こうした貯蓄がもつとも素朴な意味における貯蓄です。

貯蓄の目的

貯蓄に関する世論調査をみると、次のようになっています。一 病気や不時の災害の備えと

貯蓄で明るい明日を……

貯蓄はこのように、みなさんの身近でお役にたっています。



- 一 貯蓄は、私達の貯蓄は、社会資本の蓄積となり、産業の発展の基盤ともなっているのです。
 - 二 一つには、私達の貯蓄は、上手に使って家庭生活を高め、明るい家庭を営んで生活の基盤をつくることです。
 - 三 土地家屋の買入れや新築修理、改築のため三六・六％
 - 四 老後の生活のため 三六・六％
 - 五 まとまった金額の物品を購入するため 一〇・四％
 - 六 とくに目的はないが、貯蓄していれば安心だから 二六・一％
- これは、家族をみずからの手で守り、将来に備えるため貯蓄していることを、物語るものでありましょう。

貯蓄の考え方

貯蓄に関する世論調査により、まず、

- 一 貯蓄はいくらか、余裕があればした方がよい四二・三％
- 二 貯蓄のためには、ある程度やりくりするのも、やむを得ない 三三・九％
- 三 貯蓄は必要だから、相当無理してでもしなければならぬ 一九・四％
- 四 まず毎日の生活を楽しむことを考えたい 四・八％

貯蓄目標額

本県の昭和四十四年度の貯蓄増加目標額は、七百八十億円です。

ありましたが、その貯蓄目標達成額は、九百五十二億円と好調で二二・一％の達成率でした。

このように本県の貯蓄率は、全国的にも上位にあり、県民の堅実な消費生活のあらわれと思われまふ。今年度の貯蓄目標額は、一千億円となっています。

貯蓄運動

県と県貯蓄推進委員会が一体となり、県民の方に貯蓄の推進をおして、明るい家庭、健全な社会を築くため、六月一日から六月二十日、六月特別運動、十月八日～十月十七日までを「貯蓄の日」強調特別運動、十二月一日～十二月三十一日までを、歳末特別運動と定め、県民の方々に貯蓄思想の高揚を、呼びかけています。

勤労青少年に対する貯蓄心の涵養も大切なことで、日常生活に計画性を持たせることが、非行防止の一助ともなります。

ある作家は、「非行少年の持たないものは、唯一つ貯金通帳である」といっています。

私達一人一人が責任をもち、将来に備えて計画的に貯蓄する心構えをもち、これを実行するよう努力しましょう。(地方課)

総合計画部 開発課

私たちが住んでいる郷土富山県が、より豊かで、より快適であつて欲しいと願うのは、県民の誰しもが考えていることです。こうした県民の期待を実現するため、いろいろな開発計画の策定や、その実施促進の仕事を担当しているのが、開発課です。

具体的には、富山・高岡新産業都市建設、中部圏都市開発、北陸開発、日本海沿岸地帯振興などの計画策定とその推進、また、最近社会問題として取り上げられている、人口流出に悩む山村や過疎地域の振興のための、産業振興、交通通信対策、集落再編成などの仕事をこなしております。

さらに、今年度新たに消費生活係を設け、物価対策の一環として消費者の苦情処理、消費者教育、消費生活展覧会などの消費者対策を進めるほか、四十六年度に計画している消費生活センターの、設置準備をすることとしております。

富山保護観察所

この世の中から犯罪を追放して、明るい社会をつくる。これを理想とした新しい刑事政策の一環として、大きな使命をなつて生れたのが、更生保護制度です。

この第一線機関として、保護観察所があります。

その仕事は、保護観察官とその他の職員のか、常勤ではありませんが、国家公務員である保護司の協力によって、裁判所で保護観察に付された者、仮釈放された者などに対する保護観察を行なっています。また犯罪者や非行者をつくり出すような社会環境を、みんもの力で少しでもなくそうとする、犯罪予防活動や、恩赦の上申なども、この人たちの仕事です。

これには、社会の各層の理解ある人々の協力を得ています。犯罪者の中には、愛情、とくに母性愛の欠け、あるいは家庭の不調などによる犯罪の多い現状から見て、婦人の立場から社会奉仕と愛の精神で、犯罪の予防と更生に役立たせようと、更生保護婦人会があります。また、罪を犯したり、犯すおそれのある少年や少女たちのよい兄さん姉さんになって、彼等を不幸から救おうとする、学生を含めた地域の篤志青年たちの団体として、B・B・S会などがあります。

日本側最大の
威谷を誇る

マンモスクレーン

新富
港山



富山新港二号岸壁に四月二十四日、日本海側最大のマンモスクレーン（橋型水平引込式アンローダー）一基、四号岸壁に重量物クレーン一基が完成しました。

このマンモスクレーンは、一時間あたり四百五十トの荷揚げ能力があり、建設費は一億九千五百四十万円。いままで県内で最大だった伏木港のマンモスクレーン（三百十五ト）に比べ、大きな能力を発揮、主には荷揚げ

（鉱石など）に使用されます。重量物クレーンは、一度に六十トの荷揚げ能力があり、主に木材などの荷揚げ作業に使用され、三千三百万円で完成しました。

七月末には、一号岸壁にさらに同型のマンモスクレーン一基を増設し、富山新港岸壁上に敷設してあるレールの上を往復して、八月から、荷揚げ作業に威力を発揮することになります。

あなたのコーナー ご質問に答えて

聞こう知ろう確かめよう

こんな場合どうしたら？ これはなんとかならないか……このページは、みなさんのご質問にお答えする「あなたのコーナー」です。どなたもお気軽にお問い合わせ下さい。あて先は 富山市新総曲輪一番七号 富山県庁相談室

問 家を新築したが、便所を改善して水洗便所にするため、浄化槽を設けようと思う。その改善手続きは、どうしたらいいか。

答 お尋ねの、既設建築物の便所を改善して、水洗便所にし、し尿浄化槽を設ける場合、し尿浄化槽を設置届を保健所に提出するよう、清掃法に定められています。

この手続きが終了後、工事に着工され、しゅん工検査が済んでから使用するようになっています。

問 一般家庭に設置されているし尿浄化槽は、水洗便所から排出される汚水のみを、生物化学的に汚染物を除いて消毒した後、環境衛生上や利水上に支障を生ずるおそれのない水域（河川など）に放流するものです。従って、悪臭を出さないためには、浄化槽の構造や機能を良く知り、正しい利用方法に十分注意することが肝要ですが、維持管理のできない方は、市町村に維持管理者を許可しておられますか、その業者に委託されるとういでしょうか。

答 利用上注意すべき主な点は、次のとおりです。
一、洗浄水は、用便の前後にな

問 私（劉蘭臣）は、昭和十五年から二十一年まで、中国華北航業公会事務所に在職していた。当時上司だった高松芳人副所長（富山県出身、本籍など不明）にお会いしたいので、住所を調べてほしい。

答 なお、高松さんの特徴は、身長一六五センチ、上前歯は金歯、現在五十四才位で、昭和十九年ごろにお母さんに会うため、中国から帰国されたことがある。

造林シロヒトリ

植物にとって、六・七月は、一番成長しやすい季節である反面、病虫害の発生しやすい季節でもあります。近年、市街地などにおいて、アメリカシロヒトリの被害が多く発生していますので、次のことに注意して下さい。

アメリカシロヒトリとは
アメリカシロヒトリは、戦後アメリカから日本に入ってきた害虫で、幼虫はサクラ、プラタナスを一番に好み、マツ、スギ、ソテツ以外はほとんどの植物の葉を食べ、繁殖能力の旺盛な大害虫として注目されています。

成虫は、前ばねの長さが一・五センチの蛾で、植物の葉に五月ごろ千粒前後もの卵をかける。県では、引揚者給付金受付簿、特別交付金受付簿及び富山県末梢産者名簿などを調べましたが、該当者が見当りません。読者の方でもし、高松芳人さん

アメリカシロヒトリの防除

ためて生みつけ、六月初めごろふ化します。ふ化した幼虫は数日の毛虫で、成長すると三センチになります。幼虫の背中が、黒っぽく、側面は黄色で不規則な黒い斑点があり、全体が白い毛でおおわれており、果を焼きすてる。幼虫の時代に糸をはき、巣をつくり、かたまつて生活しており、大きくなると巣を離れてしまいますから、巣を取り、焼きすてるなどしたら、手軽に防除できます。巣をつくるのは、六月ごろと八・九月の、年二回です。防除する木が多い場合は、小さい果のうちに薬剤を散布して下さい。薬剤は、DEP剤（デイブテックス、千〜千五百倍）やDVP剤（デス、二千倍）などで、それぞれの濃度にうすめて使用して下さい。（林政課）

ヤア、どうです

現代の名工を訪ねて ③

私の座右銘 “忍耐と主張”

私は番匠屋宗家に生まれた関係上、おのずから宗家として、業界の指導的立場に立たざるを得なかったんですね。仕事の面だけでなく、人間的にも大変苦労しました。業界の人から相談役や、もめごとのまとめ役にとずく引っぱり出されまして。いろいろなやかしや、くいつてきましたので、おこわいおやじになつていらっしゃるんです。私の信条として、忍耐力と主張を若い方々にも強く持て、指導してきました。いわゆる仕事には、忍耐強く、思ったことはやり通せ、と強い信念を強調しています。八方美人ではない、と。いま、井波彫刻は時代の脚光をあげ、本県の彫刻のよさが新しいものになる傾向にあるむきもありますが、私は古いものの伝統を守りつつ、新しい技術を取り入れて、新旧の調和をはかっていると思っています。

番匠屋ののれんを守る

東砺波郡井波町本町一の一三七 田村勝二さん

井波町は、南北朝時代の明德元年（一三九〇）本願寺五代目の綿如によって建てられた瑞泉寺の門前町として発達し、彫刻の町として今に栄えている。井波彫刻は、瑞泉寺の再建にあたって、京都から名工のはまれ高井本願寺御用彫刻師の前川三四郎を招いたおと、加賀藩御用大工の番匠屋九代目、田村七左エ門が師事して、その奥義を修得したのに始まるという。

その元祖、番匠屋十五代目を継ぐ、田村興八郎さん（本名勝二、六十才）を訪ねた。小学校のころから、父親の仕事を手伝って育った田村さんは、中学に進むころになると、自分を取り巻く

周囲の環境が、自分に何を要求しているかを知るようになったが、彫刻師になることがたまたまなくイヤだった。そして幾度も反発を試みた。しかし、日本の生んだ文化の伝統を残すのは、その時代に生まれたものの義務ではなからうか。そうだ、井波彫刻を守り、番匠屋ののれんを守らねば」という考えに固まる



と、あとは先祖に負けない作品を残そうと、若い情熱をかけるようになったという。そのせいか、日展作家（工芸部門）が同町から輩出し始めたときも、日展には目もくれず、十五代目の伝統とのれんを守り続け、業界の指導者として、ノミ一本に打ちこんできた。

この技能一筋が認められ、四十三年度に労働大臣から卓越した技能者として選ばれた。十六才のとき家名を継ぎ、神社仏閣を主として、東京築地の本願寺、神奈川県鶴見最乗寺のシン彫りランマ、八尾の曳山など、教えきれないほど手がけてきた。最近の田村さんの作品は、ランマが主で、いまは、その円熟期ともいえる。番匠屋十六代目を継ぐ長男の寅さん（三十一才）も、りっぱ

六月の解説

六月の和名を「みなつき」といいます。奥儀抄という本に、「農事をみなしつくしたが故に「みなし月」という」とあります。旧暦のことですから、すでに田植え作業は済み、田の草取りも終わって、種作りの仕事はすべてし尽くした月ということなのでしょう。一説には、太陽暦の七月にあたるので、暑熱がきびしく、日照りがつづいて、水もかたまってしまふというところから「水無し月」が「みなつき」と転化したともいわれています。このほか、この月のことを、田草月、風待月、鳴神月などと呼んでいます。中国では、季夏とか元陽、炎陽、焦月などと呼んでいます。いずれも旧暦ですから現在の七月にあたりません。な彫刻師。店先では、道行く人も親子揃って、クス板にノミを走らせる姿に足をとめて見入るほど、二人のイキが合っている。また、志願者は、全国各地からきているが、本当に好きで志願してくる方は、素質もよく有望とか。「家にも鳥取から青年がきているが、大変熱心ですわね。」と若い世代の育成にかけ



富山市太郎丸にある本場では、主に水稲について試験研究を行っています。主な内容を見ますと、人工交配、世代促進による水稲新品種の育成、品種の特性検定、うまい米づくりのための産米改良



早くも稲刈り……機械化実験農場の世代促進温室では、4月24日早くも稲刈り、ここでは3回収穫し、新品の短期育成をめざしている。



機械化実験農場の圃場……乾田直播試験などによって省力化へ。

直播、田植機の実用化などによって、省力化、近代化を図ろうと力を入れています。

砺波市花園町にあるのが、砺波園芸分場。本県はチューリップの販売、輸出数量ともに全国一を誇っておりますが、このチューリップは品種がなんと七百種に及んでいます。県で



ガンマー線照射室内部……アイソトープ利用によって新品種の育成をめざす。



機械化実験農場の土質実験室では、土質の試験にけんめい。



本場の土壌実験室では、各地の土壌の分析試験が行なわれている。

は、本県に適した新品種の育成のため、交配による新品種の育成をめざしています。しかし、新品種の育成には、相当の

良試験、施肥改善として、土壌型別による施肥養分の効率向上や、奨励品種の栽培法。

また、地力の保全については、土壌の調査試験を行ない。病害虫関係では、発生予察情報の提供とか、予防方法の研究をし、適時適切に指導しています。

また、アイソトープを利用して新品種の育成と、養分の吸収過程の追跡を行ない、土壌中の施肥成分の動向を追っています。

最近、この本場も住宅や工場の進出によって市街地となり、排水面などに支障をきたす恐れもでてきましたので、四十

四年度に富山市熊野地区に十八万五千平方呎の用地を購入、本年から三か年計画で本場を建設、移転することになりました。

富山市布市にある機械化実験農場では、省力化を進めるため、試験田での水稲直播試験、水田雑草の発生を消長したり、ヒエの防除に関する試験研究を行っています。

基盤整備に伴い水田におけるトラクターの走行能率、施肥の省力化についての試験もここで行なわれています。

機械化面では、湛水しないで耕やした状態で種子を播く乾田直播、従来の湛水

期間を要しますが、ことしは、エキスポ・ハーモニーの新品種を発表しました。そ菜の研究として、はくさい、大根、かぶなどの品種改良のため、職員は育種用温室にとじこもって人工授粉を行っており、栽培法の改善のため、水田裏作はくさいの省力化、ふきの栽培改善試験、いちこの緩効性肥料の試験やトマトのハウスによる促成栽培などを行なって

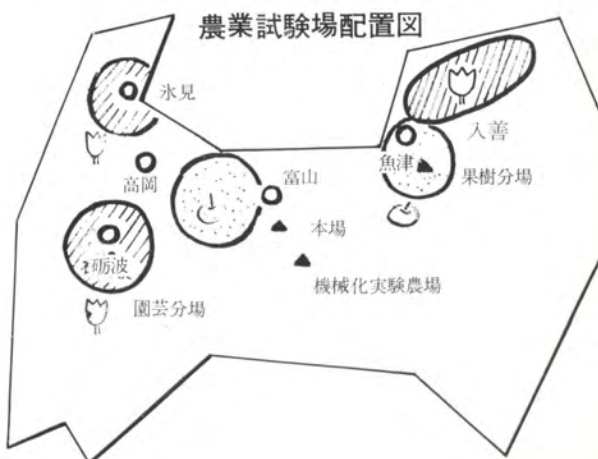


原子吸光分光分析装置……植物や土壌に含まれる成分の分析をする

います。従来西瓜は、つるの長いものとされてきましたが、つるを矮性にして反収量の増加と管理の省力化を進めようと研究中



農業試験場本館……市街化等に伴い富山市熊野地区に移転がきまった。



チーリップの人工授粉をする係員。



大根の新品種育成のため、室にとじこもって、人工授粉を行なう係員

魚津市太郎丸にある魚津果樹分場では、なし、もも、りんご、ぶどうなどについて試験、研究を行なっておりますが、最近の高級品種の需要増加に伴い、新品種の更新試験、新品種と在来品種の比較試験を行なっています。省力化については、機械導入による果樹園の設定についての試験研究。土壌、養分溶肥を調べるため、ライシメーターを設置して試験を行なっています。

その他、接ぎ木や病害虫の防除試験などを行なっています。

このように農業試験場では、農業経営の近代化のために努力しています。



魚津果樹分場本館



砺波園芸分場本館



きゅうりの葉間節を短かくし、成長を抑制して管理の省力化を図るため、抑制剤散布による試験。



機械導入によって省力化を進めるため、スピードスプレーヤーによる果樹園の薬剤散布



果樹ライシメーター…コンクリート枠で仕切って、養分溶肥試験を行なっている。

農業試験場のうつりかわり

明治17年 勲業試験場として、富山市稲荷町(当時上新川郡)に設立。
 22 農事試験場と改称、本場を東田地方に移転。
 26 上新川、婦負郡、下新川郡、射水郡、砺波市に支部を設置。
 28 試験本場と砺波支部を閉鎖、他の支部を郡役所に移管。
 31 本場を県立福野農学校に再設、郡立農事試験場を廃止。
 現在、太郎丸に移設
 大正9 県立葉草園を本場の所管とした。
 昭和8 県立産業講習所を設置。

9 砺波に園芸分場を設置。
 10 黒部、富山、山田、射水、砺波に優良米適地育種試験地を設置。
 20 優良米適地育種試験地は、山田を残し他を廃止。
 24 農業研究機関の整備統合により、農事試験場、出町園芸試験分場、山田試験地、林業試験場、総合農事講習所、種畜場、農業講習所を廃止し、富山県農業試験場を設立し、出町園芸分場、福沢農林実習分場、大沢野種畜分場および附設農業講習所を設置した。
 27 本館及び化学、病害虫実験室が完成、水見試験地が設けられた。
 28 富山産業教育館を本館内におく。
 32 林業試験場が、富山県農業試験場林業部として本場に併設。
 33 アイソトープ研究室、ガンマー線照射室、農研会館が本場内に設置
 34 林業部が、立山町吉峰に林業指導所として独立。(現、林業試験場)種畜場を畜産試験場と改称した。
 37 魚津市六郎丸地内に果樹分場を新設。
 38 富山市布市地内に機械化実験農場新設。
 40 機械化実験農場に水稲世代促進温室設置。
 42 魚津果樹分場にライシメーター、機械化実験農場に土質実験室が完成。



宮野山公園 (黒部市)

宮野山公園は、黒部市の東方に位置し、東西に細長く開けた九万平方呎の傾斜地。国道八号線に近く、市街地に接する標高百呎の台地である。

この公園は、そのすばらしい眺めが特徴で、市街地はもとより、富山湾、能登半島の景勝も一望におさめられ、さらに、北アルプス連峰の秀麗な景色を望むことができる。

また、五百本の桜が植えられたのをはじめ、つつじ、松などが自生し、将来緑と花の名所になることが期待される。

黒部市には、中心となる広場・公園がないところから、昭和三十六年に宮野山台地の公園化計画がたてられ、

市の中心公園の役割りを果たす施設をつくる。

学校遠足などにも利用できる、児童遊戯施設をそなえる。

休日などに気軽にゆける。家族やグループ用の施設をととのえる。

計画に盛り込まれたこれらのねらいは、徐々に実現しつつあり、宮野山公園は、しだいに市・県民のやすらぎの場に変わろうとしている。いま、大芝生地、運動場、遊戯施設、レストハウスなどがりっぱにできあがる日を心持ちにしている。

一方、公園の最東端の高台には、全国でも数少ないブッタガヤ式の仏舍利塔が、仏舍利奉賛会によって建立された。さらに昨年より建設中の、県下一の規模を誇る新川放牧場が隣接するなど、絶好のハイキングコースとして県内はもとより、遠来の客にもクローズアップされてきた。

越中央夜話

(第十三回)

代 牢

前号には身代り討死のことを書いたが、本号には身代り入牢(代牢)のことを記そう。

明治二年の夏は、長雨にて気温冷涼、この秋は稲みのらず、非常な凶作になった。夏の土用明けより稲株に枯穂が見え、わけても新川地方がひどかった。この年十月なかばより新川郡一帯に「バンドリ騒動」という、越中央史上最大の大規模な百姓一揆がおこり、為政者をふるえ上らせたが、これに似た百姓一揆は連鎖反応をおこして、各地に勃発した。

水見地方にも十一月に騒動がおこり、白川村の肝煎を十四日間も監禁して、実行不可能なことを要求した。白川村におこった騒動は、やがて水見地方一円に波及し、あちこちに打ちこわしや強訴がおこなわれ、一か月にわたって無警察状態がつづいた。

た。

嵐のように荒れ狂った「バンドリケ」(騒動した群集をこういった)も、やがて静まる時がきた。首謀者はきびしく探索され、やがて続々と検挙され、金沢の監獄へ送られた。牢死した人もあった。その時入牢した父親に代り、娘が入牢したいという願書(控)が、今も阿尾村に残っている。肝煎はか村役人五名の、連名の願書である。それを要約すると次のとおり。

「私も在所の某(名はとくに秘す)は、去年(明治二年)十二月十九日郡治局へ拘引され、入牢仰せつけられました。同廿八日、引き出され詮議をうけました。同人は、凶作にあたり、諸税、年貢の納入方について日夜心配し、村役人へ時々願い出ました。そして村役人を經由して、十村へ引払米を貸し

付けして下さるよう歎願しました。決して強訴したのではありません。同人妻は、幼少の子供を多くかかえて、過分の耕作をしており、主人の入牢のため耕作手入れが行きとどかず、物価高の折柄、食べていくことも困難な状態です。同人の親類共も貧しい者ばかりで、難渋してお

は、後悔なるのみならず、作りつけの田地も荒れ、かつは家族が飢え死するようなことになっては、忍びがたいものがあります。同人の子供は男女五人もあり、姉娘はことし十七才になりました。父親の代りに、娘を入牢させていただきたいと願ひ出て参りました。親類の者も、保



石牢の母をたずねる万寿郎

ります。そのため、先日出牢の儀を御願しましたが、却下されて困惑しております。このごろ牢中に悪疫がはやり、病人が多く出て、死んだ人もある由を聞ききました。同人は入牢して数か月もたつたので、身体も衰弱しており、もし右の悪疫にかかり病死するようなことがあつて

証人になって請願するからぜひ頼むと、私も村方へ歎願にきました。私も、もつともなことと思ひますので、なにとぞご詮議をお願いします。」

この代牢願はきき入れられたかどうか、判明しない。また「代牢」という法律制度があつたかどうか、参考書をしらべて見

たがわからなかった。ある法律史家の意見によれば「代牢は制度的なものでなく、古くからの慣例、それもごく稀な特殊な慣例であろう。」とのことである。

四十代、五十代の人々なら記憶がある。昔の国語の読本に(三年生用)「まんじゅの姫」というのがあった。木曾義仲の家来手塚太郎光盛の妻唐糸が、源頼朝を暗殺せんとして発覚し、牢屋に入れられた。それをきいてその娘万寿郎が鎌倉に赴き、幕府に仕えているうちに、鶴が岡八幡宮奉納の舞の舞姫に選ばれ、最優秀であったので、頼朝から「望み通りのほうびを与える」といわれ、「唐糸の身代りに入牢いたしとう存じます」と答えた。頼朝は感動して唐糸の罪をゆるし、母娘は手を携えて木曾へもどつたという物語である。

日航機「よど号」乗取り事件の、山村政務次官の身代り人質も、身代りの一例である。これをフランスの新聞記者が評して「東洋の神秘的行為だ」といったという。

橋本芳雄



早く治して

ムシバ 六月四日 ムシバ

歯の衛生週間

6/4
?
6/10

健康なからだ

日曜日の朝はテレビで県政を

テレビ みんなの県政

県政の広報事項を、フィルム構成および対談で放送します。

(毎週日曜日)

北日本放送 (7:35~7:50) 富山テレビ (7:30~7:45)
6月7日 14日 21日 6月28日